

2017 年 2 月 20-21 日 開催

まち冒険 in 足込

「限界集落の魅力を掘り起こし“商品化”せよ！」
愛知県北設楽郡東栄町足込地区。
約 50 世帯余りの足込地区は住民のほとんどが 65 歳以上の高齢者です。
一方で、昔ながらの知恵を受け継ぐ「暮らしの達人」がたくさんいます。
そんなまちへ学生が飛び込み、魅力を発見し、商品化するイベントです。
達人の「知恵」と学生の若い「発想力」のコラボを実現することで
まちと共に成長し、楽しむことができる学生を募集します！

報告レポート

約 10 名の学生とのべ 50 人近い足込の皆さんにご参加いただき
皆様のご協力のおかげでまち冒険 in 足込を無事終えることができました。
おいでんやをご利用の皆さんを中心に学生との交流を楽しむことができました。
また、楽しむだけでなく学生による企画発表も行いました。
学生の住民とは違った視点での提案には、足込の皆様も驚かれていましたね。
今回せっかくの良い機会でしたので、まち冒険の様子に参加することができなかった
地域の皆様にお伝えするために報告レポートを作成しました。
ぜひご覧いただければと思います。

開催概要

会場

足込おいでんや(愛知県北設楽郡東栄町足込橋場 2-4)

学生のミッション

「体験プログラム商品の企画による地域課題解決の提案」

発表のルール

- ・1 チーム 10 分の持ち時間で体験プログラム企画のプレゼンを行う。
- ・地域の皆さんと参加学生が審査員となり、1 人 1 票投票が可能。
- ・審査により優秀チームを 1 チーム決め、優先的に企画を実行する。

審査基準

3 つのポイントで審査

・地域らしさ

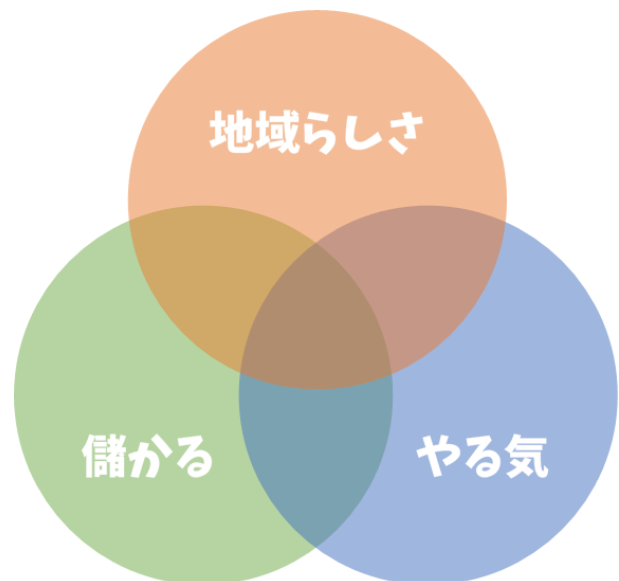
足込ならではのプログラムになっているか

・儲かる

お金を儲けることができるか

・やる気

開催に関わる人のやる気が出るか



<全体の流れ>

1 日目			2 日目	
10:30 ~	13:00 ~	19:00 ~ 21:00	9:00 ~	13:00 ~
足込を知る・学ぶ 東栄町足込とはどんなところか？現状を把握する	足込を体験する 地域の暮らしの達人による様々な体験を実践。達人の知恵を学べ！	足込と交流する 交流会 足込地区の住民と交流を深めながら企画のヒントを探れ！	プログラムの企画 体験し学んだ地域の魅力をプロデュースし商品化せよ！	プログラム発表 プログラム審査。1 位に選ばれて企画を実現せよ！

参加学生レポート

まち冒険 in 足込 ～地域資源を商品化せよ～

聖隷クリストファー大学 1 年の清水春花です。私は、2 月 20、21 日にまち冒険 in 足込に参加しました。まち冒険とは、東栄町のまちを学生が訪問し冒険する中で、魅力を発見し体験プログラムを企画するイベントです。今回は、東栄町足込地区の「おいでんや」を拠点に地域の暮らしの達人である高齢者の皆さんとの交流の中から地域を知り、地域の課題を考え、その解決策となりうる企画を行うというもの。私を含む学生 10 名が足込地区を訪問した冒険のレポートを書いていきたいと思います。参加した学生のうち約半分は東栄町出身者。それ以外は、長野や岐阜、浜松の学生が参加しました。

足込を知る

午前 10 時ごろ。私たちは、まち冒険の会場である足込地区の「おいでんや」(町役場が行っている高齢者生活支援拠点事業)へ到着しました。会場の準備や受付を済ませていると、地域のおじいちゃんおばあちゃんが続々とやってきました。みなさん「おはようございます。」と笑顔で挨拶をしてくれて早速人の温かさに触れることができました～。



地域の皆さんも揃い、プログラムがスタート！

最初は、自己紹介タイムです。

A4 の紙を使って自己紹介をしていきました。紙には読んでほしい呼び名や今回楽しみにしていることなどを書きました。地域のおじいちゃんたちの呼び名が独特で可愛かったな～。(この地域では「○○ちゃ」という呼び名が多いんです！)



自己紹介を終えた後は「足込を知る」ということで東栄町役場地域振興課の尾崎あゆみさんから東栄町の基本情報と人口推移、現在の課題などのお話をいただきました。足込地区に始めて来た学生も多かったので、まずは地域の情報をインプット！「人口が減っているのは現状であり現象」という言葉が印象に残りました。人口が減っていることが課題だと考えてしまいがちですが、人口減少という現象により変化や順応を迫られているということに対して、住民一人ひとりが主体的に考えていくことが重要であるというお話。とても勉強になりました。



足込を体験する

足込を体験するコーナーでは、まず第 1 部として「布ぞうりづくり」「まゆ花づくり」「郷土料理体験」の 3 つの体験メニューに分かれて足込の暮らしの達人たちの技を体験しました。



私は、郷土料理体験で昔ながらに地域で作られてきた料理を作りました。「亥の子餅」という昔 10 月の亥の子さまという行事に合わせ作っていたというお餅を作りました。現在では作り方を知っている人も少ないという亥の子餅。素朴な懐かしい味でした。そのほかにも旬のフキノトウを使ったふき味噌、東栄町の酒造の酒粕を使った甘酒などを作りました。地域の皆さんの手際の良さに圧倒されながらも楽しく調理できました！



体験中たくさんお話しをして、足込のみなさんの孫になったようで、ほっこりしました。そんな中でも 1 番盛り上がったのは足込の花祭り。次の花祭り来てよ〜とお誘いを受けました。学生の中に花祭りを舞っている人が居たのでその人を中心にどんどん話が広がりました。花祭りが足込のみなさんに愛されているのを感じました。次の花祭り、見に行きたいです。



そして、第 2 部では、全員でそば打ち体験をしました！

東栄町出身者でもなかなか経験者はおらず、わからないことばかり…。先生がやると簡単そうなのに、自分たちでやると、何かが違う…。そして、そばが破れそうでひやひやしてました。丸くしなきゃいけないのに四角になるし、四角にしなきゃいけないのに丸になるし…。しかし、なんとか先生の手もあって完成。「名古屋風のそばだな」と言われてしまいました...(笑)出来上がったそばは、夜の交流会に出して皆さんでいただきます。学生の打ったそばは太くて一目でわかってしまいます。「それでも自分で打てばおいしいよ」と優しい言葉をかけてくださいました。



交流会

夜は交流会。足込を体験するで作った郷土料理や自分たちで打ったそばを、足込のみなさんと食べました。おいしい！と言ってくださって嬉しかったです。お酒やお茶、ジュースを片手に話しまくる…。足込のみなさんの勢いに圧倒されました。そして、足込の花祭りに密着した、『祭人魂』が流れるとみなさん、シーンとしました。私の隣に、密着された方のお母さんが居たのですが、その方は自分が映ると「あ！映った！！恥ずかしい！！」と言って可愛かったです。そして、その映像を見ることで、足込の花祭りが足込の人たちにとって大切な行事であることがわかりました。



体験プログラムの企画

2 日目は体験プログラム企画のプレゼン。
プログラムが無事完成するのか、きちんとした発表ができるのか、不安でいっぱいでした。私たちは前日に足込のみなさんにとって花祭りがとても大切だと分かったので、その花祭りを生かしたプログラムを考えました。なんとか時間内にプレゼン資料を作成して、いざ発表！



自分たちの言葉で、考えたことを発表しました。たどたどしい発表だったのにも関わらず、足込のみなさんは真剣に聞いて考えてくださりました。本当に嬉しかったです。

そして、もう1つのグループの発表。人が違えば視点も違うのだなと思いました。私たちのグループはほとんどが東栄町出身でしたが、もう1つのチームはほとんどが町外の学生でした。だからこそ、見る視点や感じたことが違い、それがプレゼンに生かされていました。私たちが当たり前前に感じていることは他の人たちにとっては当たり前ではないのかもしれませんが、今ある当たり前を大切にしていきたいと改めて思いました。



そして、いよいよ投票による審査。

得票が多かったチームのアイデアは、優先的に実行に移すことができるだけでなく、地域限定の非売品の賞品(足込地区花祭りで寄付金への返礼として作成している湯飲み)がもらえます。

聞きに来てくださった人たちに投票してもらい、結果発表！！残念ながら私たちのグループは、選ばれませんでした。しかし、どちらも良かったと言ってもらえて安心しました。



発表を終えて

全てのプログラムが終了し、帰るとき、また来てね～と声をかけてくださった方。名前を呼んで、手を握ってくれた方。いつまでも手を振ってくれた方。とても嬉しくて、涙が出そうでした(少し出ました)。花祭りにもおいでんやにも、また行きたいなと思います。

今回の2日間で約10名の学生と50名近くの地域のみなさんが集まりました。そんなにたくさんの人が集まったとは知らなかったのが、驚きでいっぱいです。全ての終わった今、"楽しかった！"という感想です。家族のように温かく接してくださった足込のみなさんのおかげだと思います。ありがとうございました。

"終わった"と書きましたが、ここからが始まり。今回、学生が企画したプログラム。実現できるかどうかわかりませんが、実現したい！という気持ちでいっぱいです。実現のため、また一步一步、歩んでいきます。東栄町、来たいなあ～と思ってもらえるよう、どんどん企画をしていきます。ご協力してくださったみなさん、本当にありがとうございました！またお会いできる日を楽しみにしてます(^ ^)



学生による発表の内容（抜粋）

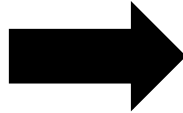
<A チーム>

タイトル: 体験 ASHIKOME

メンバー: イ・スンヒョン、佐野昌、金田翔真、清水春花、鷹氏麻理子

○現在足込地区が抱えている問題

- 少子高齢化
- 交通の便が悪い
- 日照時間の短さ
- 地区の魅力の PR 不足



足込の魅力を体験する
“体験 ASHIKOME”の開催

○体験 ASHIKOME の内容

- 足込の代名詞「花祭り」の体験
- 足込や東栄町の食材を使った BBQ
- 星ふるさと東栄町での天体観測

○ツアーの狙い

- 実際に舞の体験をすることによって、観光客に花祭りへの理解を深めてもらう
- 花祭り本番に来てもらってお金を落としてもらう
- 地域の食材を食べてもらうことで経済効果を上げ、魅力を知ってもらう
- 周辺の都市部では、滅多に見られなくなってしまった美しい星空を見てもらう
- 季節ごとに変化する星空を見るべく、リピーターを増やす

○ターゲット

「夏休みのファミリー層」

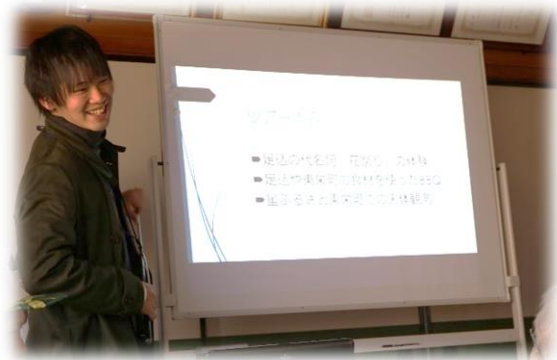
- ・小さな子供のいる家族
- 中京圏の都市部在住
- 将来的に移住を考えている

○価格設定

大人ひとり 5,000 円

子供ひとり 3,000 円

※現地集合、現地解散



<B チーム> ※採用チーム

タイトル:体験プログラム IN 足込

メンバー:菅野葉花、福本明花、小野田隆太郎、片桐知稀

○足込地区に来て感じたこと

“集まれる環境「おいでん家」があることは強み”

→だからこそ、続いてほしい！ →続けるためには稼いでいくこと！

○なんで稼ぐんだろう？

① 内部の地盤固め

「なんのために」を地域で考える

→自立するため。 = おいでん家運営委員会設立

<実行する内容>

・マップ作り

地域内外の人達で地域を巡り、マップを作製する

目的 地域の魅力を再発掘・再確認(内部の地盤固め)

・「わたしこれできます！」探し

目的 自分のできることを再確認する。やりがいを探す。

② 外貨の獲得によるおいでんや運営コストの捻出

<実行する内容>

「足込に走りこめ」

足込小学校での合宿体験、地域の人から学ぶワークショップ

体験内容:布草履・まゆ花づくり・伝統料理体験・そば打ち体験・川遊び・花火

花祭り(11月第3土曜日から)・地区の人とBBQ・キャンプファイヤー

学園祭(地区の人も外の人も)

対象:学生

時期:長期休暇

主催:学生団体りん

〔 小学校の宿泊調整
ワークショップのコーディネート・リスト化
集客等運営 〕

「一休さんになって、ひとやすみ」

慶泉寺での住職体験

体験内容:朝のおつとめ・掃除・三十三観音巡り・道づくり・お花見・精進料理づくり

対象:社会人

時期:友引の日

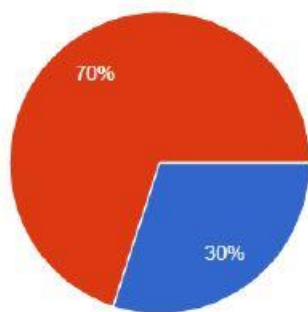
価格:1万円/泊

主催:おいでん家運営委員会 → コーディネート・集客・運営



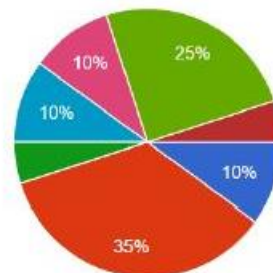
参加者アンケート（回答数 20、学生 9 名 & 地域 11 名）

性別（20 件の回答）



年齢（20 件の回答）

● 男性
● 女性



● 10代
● 20代
● 30代
● 40代
● 50代
● 60代
● 70代
● 80代以上
● 70代以上

参加したプログラム（20 件の回答）



参加したプログラムの感想（抜粋）

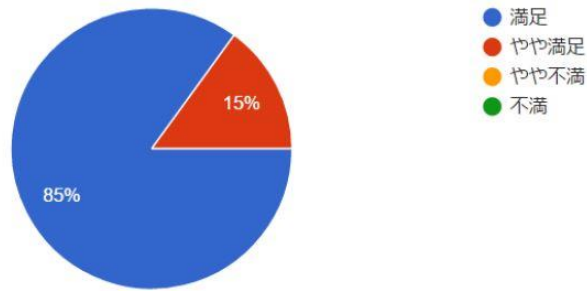
<足込地区の方>

- ・ぞうりづくりに参加されていた学生達はお年寄りの方に学び、真剣に取り組んでいたし、作品の出来上がりに感動した。これらのために1 か月以上かけて準備をされた方々の様子を見て感動しました。
- ・交流会では、久しぶりに会った地区の方と話してしまって学生さんともっと話したかったです。発表会では若い力を感じました。田舎に遊びに来るだけでなく、若い目で見てくれている思いをうれしく感じた。地元の先輩たちも刺激を得られた。
- ・若い人と気安く楽しい体験ができた。どれも楽しく参加させていただきました。学生の皆様の熱意をととても感じました。

<学生の参加者>

- ・まゆ花づくりは初めて見たがすごく色がきれいで気に入った。
- ・おばあちゃんたちの孫になったようで楽しかったです。
- ・準備がしっかりしてあって、体験がしやすい空間でした。鼻緒など用意するのに1 か月頑張ってくれたみたいでありがとうございました。熱心に教えてもらえてすごく楽しかったです。
- ・初めて経験したことばかりで、すごくいい経験になった。今回できなかった体験もしてみたい。
- ・布ぞうりをつくり1 本の細長い布からきれいなぞうりが出来とても感動した。
- ・まゆ花が初めての体験だったので楽しかった。地区の人の教え方がとても上手で先生に聞きっぱなしでした。

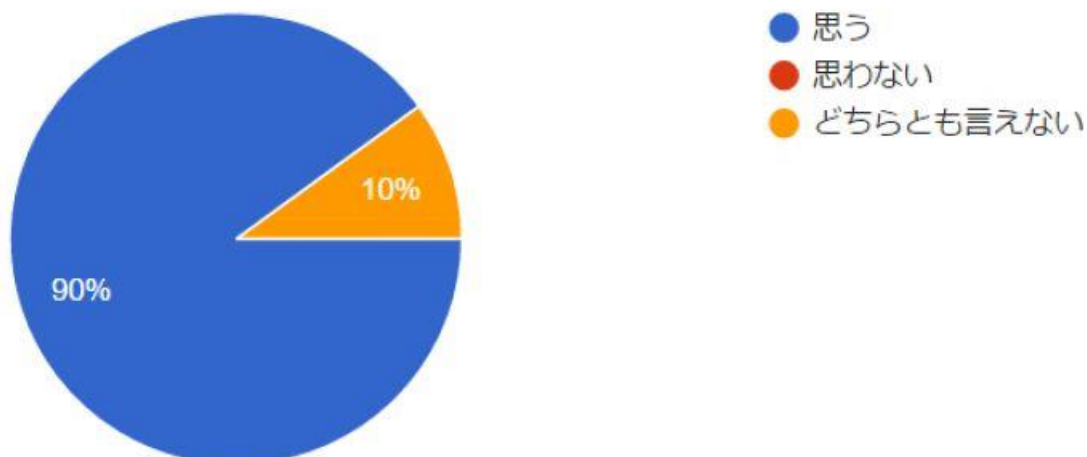
参加したプログラムの満足度 (20 件の回答)



満足度の理由

- ・お年寄りも学生も真剣に互いを大切に考えて作品作りをしていた。
- ・なかなか体験できないことを地元の方々と密着し、気になったことをその場で聞けて交流できるところがすごくよかった。
- ・学生の方の自己紹介があったらよかったと思います。
- ・学生と交流できて楽しくできた。
- ・私たちも勉強になりました。
- ・学生とともにこの足込のことを考えることができてよかった。
- ・毎日独りぼちでいるのでとても面白く思いました。
- ・昔の話や作り方などたくさんお話ししてくださって楽しかったです。
- ・したことのない体験をしていろんなことを知り、足込がさらに好きになったから。
- ・あんまやったことないことができたから。
- ・地域の人と喋れる環境づくり場づくりができていていっぱい話すことができました。お寺とかおいでんや以外の場所にも行ってみたかったです。プログラムを企画するには工夫が少なかったのです。
- ・足込のためになったかはわかりませんが、いろいろ勉強になりました。
- ・地元の方に教えてもらい納得のいくものが作ることができたため。
- ・自分の地域でもお年寄りの方とかかわる機会がなくとてもいい経験になった。
- ・プログラムを企画するには少し情報量が少なかった。でも近くにすぐに聞ける地域の人がいる環境が救いでした。

今後プログラムの開催に関わっていきたいと思うか (20 件の回答)



お礼と今後の流れについて

足込地区のみなさん、今回の主催者ゆんばの伊藤拓真です。
まち冒険 in 足込の開催にご協力いただきありがとうございました！僕自身にとっても足込の魅力や皆さんの力を改めて実感した2日間となりました。
これを単なる経験として終わらせるのではなく、実行に移していきます。
今後は、投票により採用されたBチームの発表をもとに実行に向け動いていきます。また、進捗があり次第、皆さんに何らかの形で報告いたします。



足込へ学生が訪れたことで足込地区が動き出す。そんな姿を想像して、ワクワクしています。
地域や誰かのためではなく自分たちのために。より良い足込地区を一緒に作っていきましょう！
まだまだ未熟な若造ですので、皆さんにご協力をお願いするところがあるかと思います。
皆さんの負担にならないように一緒に楽しい時間を作りたいと思います。
今後どうぞよろしくお願いいたします！！



学生団体

りん

とは？

都市部にすむ若者の

「東栄町のために自分にできることをしたい」

という“想い”をカタチにする学生団体

○主な活動

都市圏での
コミュニティ形成
とうえいどりんくす

2,3か月に1回開催！

都市圏で
東栄町と繋がる
コミュニティ

Ring
&
Drink

アイデアや化学反応は
ここから生まれる？！

都市部との
交流の場
づくり
まち冒険

長期休みに開催！

都市圏在住の学生と
東栄町のまちを
冒険するプログラム

Link
&
Feeling

一緒に地域へ飛び込み
「知らない」に出会おう！

出身者への
情報発信
人材紹介

随時発信！

町内外で活躍する
おもしろい東栄人を
紹介します

Link
&
Report

おもしろい人に
会いに行っちゃおう！

○東栄町体験プログラム博（仮称）の開催を目指して

小さな体験プログラムをたくさん集め短期間に一斉開催する“オンパク手法”を

活用した東栄町での観光まちづくりの活動。町の魅力を町内外の人が認識、体験、

発信、交流するきっかけ作りとして、地域課題を解決するための観光に取り組みます。

次年度 8 月の開催を目指して現在実行委員を立ち上げています。

学生団体りん HP→

